

鹿児島県・南薩圏域

1. 令和元年度の達成目標・取組状況

令和元年度の達成目標	取組状況
1. 当事者がピアサポーターになりたいと思える研修会の開催。(目標：16人)	・7/6, 7に研修会を開催し、ピアサポーター3人を養成。(現在活動中2人)
2. 圏域内8病院がピアサポーターの体験談を聞き、各病院の事業の理解や入院患者の退院の意欲喚起が図れる。(目標：8病院)	・体験談の練習を8月, 9月実施。 ・体験談は、圏域内8病院中7病院で10月～1月実施。 (対象者：患者135人 職員91人) 患者や職員の反応はよかった。
3. ピアサポーターを活用するなど地域移行を利用し、地域移行支援体制づくりができる。 (目標：9件)	・戦略チーム会議で対象者の選定等検討しているが、地域移行支援の利用までは、まだ至らない状況である。 予定者・・・2人(2病院) リスト作成済み・・・3病院 リスト作成中・・・2病院

2. 支援事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーターの体験談では、職員が患者の「退院したい」という言葉を聞き、改めて患者の退院について考える機会になっていた。また、入院患者は退院の意欲喚起が図れた。 ・リストをとおして、患者ごとに退院できない理由があり、地域の課題としての対策が必要であることが分かった。(退院できない理由に「家族や地域の人の理解不足」「家族がいない」等) ・ピアサポーターとの活動は、当事者の現状や可能性を知る機会になり、当事者の活動の場の広がりを感じる。

3. 次年度に向けた課題等

<ol style="list-style-type: none"> ① 患者の退院意欲が継続しない。 ② 相談支援所への引継ぎに時間がかかる。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族の不安が次々と出、病院が対応し、相談支援事業所へつなげない。 ・相談支援事業所の所在地と患者の住所が異なるため、関係機関との連絡がうまくいかず、後見人の利用等の手続きができない。 ③ 戦略チーム会議の実施方法、ピアサポーターの養成講座の実施方法

4. 課題の解決に向けた 令和2年度取組方針

<ol style="list-style-type: none"> ① に対して <ul style="list-style-type: none"> ・患者に「地域移行サービス」を理解してもらうため、各病院1例は実施してみる。 ・入院患者とピアサポーターとの交流の機会等をつくる。 ② に対して <ul style="list-style-type: none"> ・戦略チーム会議で、対象者選定後、相談支援事業所が早急に対象者と面接する。 ③ について 検討中
